

【焼き板】

「自主活動」のみ



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



内容

日本を代表する木である「杉」の板に、記念日や思い出を描き、自分だけのオリジナルプレートを作る活動です。

活動前の準備

- ・利用団体購入 : ①杉板セット380円 ※1か月前までに「教材申込書」を食堂に提出する。
②アクリル絵の具(食堂注文可 5色900円)
③薪1束750円(1かまど1束程度) ④チャッカマン
⑤古タオルやぞうきん ⑥新聞紙 ⑦肌の露出の少ない服装
- ・交流の家貸出可 : ①焼き板用たわし ②焼き板用パレット ③焼き板用バケツ
④焼き板用ふで

活動前の準備

- ・事務室で担当職員と事前打ち合わせを行う。(「打ち合わせシート」「焼き板の作り方」使用)
- ※活動場所の確認、貸出備品等の確認を行う。
- ・「センター棟の鍵」「野外備品使用報告書」を受け取る。
- ・食堂に、教材を取りに行く。
- ・活動場所で、用具の準備を行う。

活動の流れ

- ・会場までの移動時間等を考慮して活動時間を設定する。

【活動中】

- ①交流の家職員からの説明(セーフティトーク ※SDGs「薪を使うことの意義」含む)を聞く。(15分程度)。
- ②引率者が、活動時間や終了時間等の補足説明をする。
- ③焼き板を作る。※「焼き板の作り方」参照

【焼き板終了後】

- ①使用した場所、道具を片づける。
- ②「センター棟の鍵」を事務室に返却し、活動終了の報告をする。
- ③「野外備品使用報告書」を食堂に提出する。

留意点

【打合せ関係】

- ・打ち合わせは、到着後できるだけ早い時期にお願いします。

【焼き板活動中】

- ・1かまどの目安人数は、5~10人にしてください。
- ・安全上のため、6人以上の場合は、半数ずつ焼いてください。
- ・火を使うので、やけどや怪我、また周囲の安全も確認して行ってください。
- ・やけど等に注意するため、肌の露出の少ない服装で活動してください。
- ・かまど内の薪は燃やし尽くしてください。かまどに水をかけないでください。
- ・使用した薪数の確認は、正確に行い、「野外備品使用報告書」に記入してください。
- ・ながしの底についた「アクリル絵の具」は、必ず取り除いてください。

【片付け】

- ・使用した机やかまどは、元の位置に戻してください。

【その他】

- ・安全上職員が中止の判断をすることがあります。